

令和5年 はたちの集い 式辞

新年あけましておめでとうございます。江津市長の中村中です。

今年度晴れて、はたちを迎えられました皆様に対しまして、江津市民を代表し、心よりお祝い申し上げます。

また、本日は会場に入ることができないご家族の皆様をはじめ、これまで支えてこられたすべての方々の感激もまた、ひとしおのことと思います。

これまでのご苦勞に敬意を表すると共に、改めてお慶びを申し上げます。

令和4年4月の民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられたこともあり、江津市では、これまで行ってきた「成人式」を「はたちの集い」と改め、引き続き、はたちになられた皆様をお祝いし、集う会にすることとしました。

久しぶりに出会う顔も多いのではないかと思います。これから向かうそれぞれの未来に向けての、1ページとしていただけると、幸いに思います。

さて、コロナ禍も3年が経過しようとしています。

この間、世の中の仕組みがデジタル化の急速な進行を中心に大きく変わってきています。

このような流れは、「東京からいちばん遠い市」として教科書に載ったこともある本市においては、距離を縮めていくチャンスととらえることもできます。

本市は山陰地方の市の中で、最も人口が少ないまちですが、たとえ規模は小さくとも、一流のまちになることは可能です。

人口減少に抗いながら「小さくとも《一層》キラリと光るまち とうつ」を目指し、「GO▶GOTSU! 山陰の創造力特区へ」、というスローガンを掲げ、まちに芽吹き始めている創造的な動きを後押ししています。

いつの時代にも多くの課題はありますが、それを乗り越えていった先には、必ず明るい未来がまっています。

皆様のような、若い世代の柔軟な発想と創造力が、キラリと光る未来に向けて、存分に発揮され、各方面でご活躍されることを切に願っております。

結びに、皆様の限りない発展とご健勝をご祈念申し上げますとともに、これまで皆様に慈しみ育ていただいた全ての方々のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和5年1月2日

江津市長 中 村 中